

養 老 公 園

指定管理者募集要項

令和3年6月

岐阜県都市建築部都市公園整備局

都市公園課

目 次

番号	タイトル	ページ
第 1	施設の概要	3
第 2	募集の内容	5
第 3	募集から決定までのスケジュール	1 3
第 4	申請に係る事項	1 3
第 5	指定管理者候補者の選定手続	1 7
第 6	申請資格の喪失	2 2
第 7	指定管理者の指定及び協定締結に係る事項	2 3
第 8	指定管理者による管理の開始	2 3
第 9	公租公課の取扱い	2 4
第 1 0	その他留意事項	2 4
第 1 1	様式・添付資料	2 4
第 1 2	問い合わせ先	2 5

岐阜県（以下「県」といいます。）は、養老公園（以下「本公園」といいます。）の設置の目的を効果的かつ効率的に達成するため、岐阜県都市公園条例（昭和37年岐阜県条例第41号。以下「公園条例」といいます。）第9条の2の規定に基づき、以下のとおり養老公園の管理運営に関する業務を行う指定管理者を募集します。

第1 施設の概要

1 名称

養老公園

2 所在地

岐阜県養老郡養老町大字滝谷、菊水、松原、船岡、高林地内

3 施設の設置目的

本公園は、豊かな自然や歴史とふれあうことができる名瀑「養老の滝」を中心とした養老山麓に位置しており、「健康長寿の願いと命への感謝が込められた自然と歴史をたどる」を基本コンセプトに、身体で直接的に芸術を体感できる養老天命反転地のほか、テニスコートなどのスポーツ施設、児童を対象に自然の中でのびのび遊ぶことができる岐阜県こどもの国など、県民の多様なニーズに対応できる多彩な施設を備えた都市公園です。

4 沿革

明治13年10月	公園開設
～昭和58年	駐車場、園路、岐阜県こどもの国、テニスコート、樹木見本園開設
～62年	駐車場、芝生広場開設
平成2年	パークゴルフ場開設
平成6年	パターゴルフ場開設
平成7年	養老天命反転地開設
平成9年	養老天命反転地記念館開設
平成10年	楽市楽座・養老開設
平成17年8月	イビデングリーンテック株式会社を指定管理者に指定 指定期間：平成17年9月1日から平成22年3月31日まで
平成22年3月	イビデングリーンテック株式会社を指定管理者に指定 指定期間：平成22年4月1日から平成27年3月31日まで
平成26年12月	イビデングリーンテック株式会社を指定管理者に指定 指定期間：平成27年4月1日から令和4年3月31日まで
平成30年4月	駐車場無料化
令和3年4月	養老の滝入口駐車場の無料化（指定管理施設へ追加）

5 本公園の構成と公園施設の内容

現在、本公園は以下の（1）に示すとおり3つのゾーンから構成されています。また、各ゾーンには、以下の（2）に示す公園施設が設置されています。

（1）本公園の構成

①自然、歴史のエリア

日本の滝百選「養老の滝」、名水百選「菊水泉」、養老の滝から流れる滝谷を中心とするエリア

②レクリエーション、スポーツのエリア

児童の健全な遊びを通して創造性豊かな情操を養うため、自然環境に恵まれた広域の遊び場として整備された「こどもの国」、幅広い層が手軽に楽しみ健康増進を図ることのできるテニスコートなどのスポーツ施設、美しいアカマツ林に囲まれたキャンプ場などからなるエリア

③芸術、文化のエリア

現代社会が「物質本位の時代」から「心の時代」へと変化する中、公園も心の安らぎや潤いが得られる地としての役割が求められていることから、こういった時代の流れを踏まえ、21世紀型生活文化にふさわしい新しい魅力を備えた庭園として整備された、養老天命反転地のエリア

(2) 公園施設の内容

面積 (A) = 約78.5ha

施設名	規模	内容等
養老天命反転地	面積 約1.8ha 高低差 最高約25m 楕円の長径 約130m 楕円の短径 約100m	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年10月4日オープン 楕円形の巨大な窪地内に、大小様々な日本列島が横たわり、複雑な起伏が点在するとともに、148もの回遊路が網目状に張りめぐらされている。 現行料金 ※()内は20名以上 一般 770円(530円) 高校生 510円(380円) 小中学生 310円(210円) 小学生未満無料
こどもの国	面積 約10ha ぼうけんひろば、こどもプールのびのびひろば等	<ul style="list-style-type: none"> 昭和54年一部、55年全面オープン 自然の地形と環境を十分に生かした児童をはじめ様々な世代の遊び場。 ※今後、機能向上(改修)予定あり
テニスコート	全天候スパックサンドコート 8面	<ul style="list-style-type: none"> 現行料金 2時間以内 530円/1面 4時間以内 860円/1面 1日(平日・土曜) 1,600円/1面
パターゴルフ場	面積 約0.42ha 全長 294m、18ホール	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年7月20日オープン 現行料金 一般 440円 中学生以下 220円
楽市楽座・養老	建築面積 約1,037㎡ 木製デッキ 約162㎡ 鉄骨造(一部サスペンション膜構造) 店舗：店舗面積15.12㎡ 飲食8店舗 物販1店舗	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年4月19日オープン 白い大型テント張の施設内で軽食、郷土料理、スナック、養老の地ビールなどを販売。眺めの良いデッキでくつろぎながら飲食ができる。 ※令和4年度より指定管理施設に追加 ※今後、隣接の時計台とあわせた当該エリアに「眺望をいかしたテラス」の整備予定あり
パークゴルフ場*	面積 約9.2ha 全長 810m、6ホール クラブハウス、休憩所 便所等	<ul style="list-style-type: none"> 平成2年7月12日オープン 中学生以上を対象とした、ケイマンボール専用のゴルフ場。 現行料金 一般 平日 1,100円 土日祝 1,540円 65歳以上 平日 880円 土日祝 1,330円
養老キャンプセンター*	面積 約11,200㎡ 施設 ロッジ・バンガロー等	<ul style="list-style-type: none"> 養老の滝近くの美しいアカマツ林の中、濃尾平野や南アルプスを一望できる景勝地に設置されたキャンプ場

※現行料金とは、現指定管理者が設定した利用料金のことをいいます

※パークゴルフ場・養老キャンプセンターは、リノベーションの提案を求める施設です

第2 募集の内容

1 指定管理者が行う業務の範囲

指定管理者は、次に掲げる業務を実施してください。なお、当該業務の詳細については、別添「養老公園管理運営業務仕様書」（以下「仕様書」といいます。）に定めるとおりです。

- (1) 本公園を管理すること。
- (2) 本公園の利用者への便宜の供与に関すること。
- (3) 本公園の利用の促進に関すること。
- (4) 本公園の利用を禁止し、又は制限すること。
- (5) (1) から (4) までに掲げるもののほか、仕様書に定める業務

2 自主事業の提案について

指定管理者は、前項に定める業務の範囲外において、公園の設置目的に合致し、かつ、本業務の実施を妨げない範囲において、自己の費用と責任において実施する事業（以下「自主事業」といいます。）を県に提案することができます。

自主事業を行う場合は、事前に県と協議の上、その了承を得る必要があります。また、自主事業に係る経理を指定管理業務と区分して整理してください。

3 第三者による管理について

都市公園法（昭和31年法律第79号）第5条及び第6条あるいは公園条例第4条の規定による許可を受けた者（本公園の指定管理者の指定を受けた団体を除きます。）が設置、管理又は占用する施設については、当該許可を受けた者が管理を行います。

また、指定管理者は、当該許可を受けた者が行う、当該許可に基づく管理、占用その他の行為を妨げてはなりません。

なお、令和3年5月31日現在で許可を受けている施設は、添付資料（25）のとおりです。

4 指定管理者が行う管理の基準

指定管理者は、次に掲げる管理の基準に基づいて本公園を管理してください。なお、当該管理の基準の詳細については、別添仕様書に定めるとおりであり、その細目については、県と指定管理者との間において別途締結する協定で定めるものとします。

(1) 公園の利用時間及び休業日

利用時間及び休業日については、次のとおりです。

ア 利用時間

(ア) 本公園の利用時間は、次の(イ)に規定するもののほか、終日とする。

(イ) 本公園内の有料公園施設及び駐車場の利用時間は午前9時から午後5時までとする。

イ 休業日

(ア) 本公園は、次の(イ)(ウ)に規定するもののほか無休

(イ) 本公園内の有料公園施設及び駐車場（「養老の滝入口駐車場」を除く。）の休業日

月曜日（当該月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」といいます。）である場合には、その翌日以降の最初の休日でない日）及び12月29日から翌年の1月3日まで

(ウ) 本公園内の駐車場（「養老の滝入口駐車場」に限る。）の休業日

12月29日から翌年の1月3日まで

ウ 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ県の承認を得て、公園又は有料公園施設及び駐車場の利用時間を変更し、又は臨時に休業し、若しくは休業日に業務を行うことができます。

(2) 利用の禁止又は制限

指定管理者は、公園条例第6条の規定により、本公園の損壊その他の理由によりその利用が危険であると認められるとき、又は本公園に関する工事若しくは公園施設の保守管理のためやむを得ないと認められるときは、区域を定めて、本公園の利用を禁止し、又は制限することができます。

また、指定管理者は公園条例第9条の5の規定により、本公園の管理に当たって必要があると認める場合には、あらかじめ県の承認を得て、本公園の利用を制限することができます。

(3) 利用料金

指定管理者は、公園条例第9条の9の規定により、施設の利用に係る料金（以下「利用料金」といいます。）を自らの収入として収受することができます。

利用料金は、公園条例に定める額の範囲内で、指定管理者があらかじめ県の承認を得て決定します。なお、当該利用料金の額及び納付方法の詳細については、指定管理者に利用料金規程を定めていただきます。

(4) 法令等の遵守

ア 関係法令等

指定管理者は、業務の遂行に当たり、次の関係法令等を遵守してください。

- (ア) 地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）、その他行政関係法令
- (イ) 都市公園法（昭和31年法律第79号）、公園条例（昭和37年岐阜県条例第41号）、岐阜県都市公園条例施行規則（昭和37年岐阜県規則第135号）、その他県が定める要綱、要領等
- (ウ) 岐阜県公契約条例（平成27年岐阜県第21号）
- (エ) 労働基準法（昭和22年法律第49号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）、最低賃金法（昭和34年法律第137号）、その他労働関係法令
- (オ) 消防法（昭和23年法律第186号）、水道法（昭和32年法律第177号）、電気事業法（昭和39年法律第170号）、エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和54年法律第49号）、建築基準法（昭和25年法律第201号）、大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年法律第20号）、浄化槽法（昭和58年法律第43号）、下水道法（昭和33年法律第79号）、その他施設（設備を含みます。）の維持管理又は保守点検に関する法令
- (カ) 食品衛生法（昭和22年法律第233号）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）、遺失物法（平成18年法律第73号）、農薬取締法（昭和23年法律第82号）、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）、家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）、個人情報の保

護に関する法律（平成15年法律第57号）など業務の実施に伴い関連する法令
 (キ) 県営公園管理マニュアル（令和2年）、岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン
 （令和3年4月）、その他本公園の管理運営業務に関連するすべての法律、命令、条
 例、規則及び県が定める規程

イ 個人情報保護

岐阜県個人情報保護条例（平成10年岐阜県条例第21号）第11条の2第2項の規定により、本公園の管理に係る業務において取り扱う個人情報の保護のために指定管理者が講ずべき必要な措置として、個人情報保護規程を整備し、当該個人情報の適正な収集及び管理を行ってください。

ウ 守秘義務

指定管理者が行う本公園の管理に係る業務に従事している者又は従事していた者は、当該業務に関して知ることのできた個人情報及び当該業務の処理上知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しないよう必要な措置を行ってください。

エ 情報公開

岐阜県情報公開条例（平成12年岐阜県条例第56号）第25条の2第1項の規定により、同条例の趣旨にのっとり、指定管理者が保有する本公園の管理に係る情報の公開に関し当該指定管理者が講ずるよう努めるものとされる必要な措置として、情報公開規程及び申出等の窓口設置など情報公開体制を整備し、当該情報の適正な公開を行ってください。

オ 文書の管理・保存

指定管理者が本公園の管理に係る業務において作成し、又は取得した文書（図画、写真、フィルム及び電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいいます。）を含みます。）については、岐阜県公文書規程（昭和44年岐阜県訓令甲第1号）に準じて文書管理規程を整備し、適正な管理及び保存を行ってください。

また、6に定める指定期間の終了時には、県の指示に従って、当該文書を県に引き渡してください。

5 県と指定管理者とのリスク分担

(1) 指定管理業務に係るリスク分担

県と指定管理者とのリスク分担は、次の表のとおりとし、詳細については、両者の間において別途締結する協定又は両者の協議で定めることとします。

また、指定管理者は、損害賠償責任保険その他必要な保険に加入しなければなりません。

区分		リスク負担者	
		県	指定管理者
公園の維持管理			○
施設等の修繕	1箇所当たり60万円以上 ※1	○	
	1箇所当たり60万円未満 ※1		○
備品の維持管理等	1物品当たり10万円以上 ※2	○	
	1物品当たり10万円未満 ※2		○

利用者及び周辺住民からの苦情、要望等の対応			○
物価の変動	年度協定の締結時において予想することのできない経済情勢 その他の情勢の変化による著しい物価の変動によるもの	○	
	上記以外のもの		○
金利の変動			○
法令の変更	公園の管理運営に影響を及ぼす法令の変更	○	
	指定管理者に影響を及ぼす法令の変更		○
支払の遅延	県からの経費の支払遅延（指定管理者に起因するものを除く。）に起因するもの	○	
	上記以外のもの		○
政治・行政上の理由による事業変更等に伴う増加経費の負担		○	
災害による 施設の損傷等	指定管理者の責めに帰すべきもの		○
	上記以外のもの	○	
利用者等への 損害賠償	指定管理者の責めに帰すべきもの		○
	上記以外のもの	○	

(※1) 指定管理者は、リスク分担にかかわらず、自らの申し出により、自己の費用と責任において、県の承認を得たうえで、公園の機能を向上させ、又は公共性の観点から必要と認められる各種工事を実施することができます。

(※2) ①県の貸与備品については、岐阜県会計規則(昭和32年岐阜県規則第19号)に基づき、適正に管理し、毎年、貸与備品の数量、状態の確認を行い、その結果を県へ報告してください。

②備品の廃棄などの異動については、県と協議してください。

③1物品当たり10万円以上の備品の修繕については、県に報告してください。

6 指定期間

指定期間は、令和4年4月1日から令和14年3月31日までの10年間とします。

7 指定管理者が行う業務に要する経費等

指定管理者が管理の業務を行うに当たって必要となる経費は、県が指定管理者に対して支払う指定管理料、指定管理者が施設の利用者から収受する利用料金その他管理業務関連収入によって賄うことになります。

(1) 初年度における指定管理料の上限額

指定管理料の額は、施設の維持管理費及び運営費、企画事業費その他の管理業務関連支出の見込額合計から、利用料金、その他の管理業務関連収入の見込額合計を差し引いて算出するものですが、県は、指定期間の初年度に支払う指定管理料の上限額（新型コロナウイルス感染症による収支への影響について考慮していません。）として、次に掲げる額を予定しています。ただし、実際に支払う指定管理料の額は、県議会の議決により変動することがあります。

指定期間の初年度における指定管理料の上限額

188,407千円（消費税及び地方消費税を含みます。）

なお、指定期間中のいずれかの年度の指定管理料について、当該上限額を超える額を提案した申請団体は、選外とします。

(2) 指定管理料の支払方法

県と指定管理者との間において別途年度ごとに締結する協定に基づき、県は指定管理者に対して指定管理料を支払います。その額が本業務の実施に要する費用に達しない場合においても、県は、原則として、指定管理料の追加の支払いは行いません。

(3) 前受金の引継ぎ

指定期間終了後の施設の利用に係る利用料金をあらかじめ前受金として収受している場合には、指定期間終了の際、当該前受金を県に引き継いでいただきます。ただし、県が認めた場合には、次期指定管理者に対して引き継ぐことができるものとします。

(4) 指定管理料の精算について

指定管理者は、利用料金収入が当初の見込みを上回り、かつ、利益が生じた場合は、税引き後の利益の20パーセントを県に納入することとします。

ただし、経費の削減等により生み出された余剰金については、原則として納入を求めません。

(5) 管理口座及び区分経理

本公園の管理に係る業務に関する収入及び支出は、指定管理者が日常使用している口座とは別の口座により管理してください。

また、当該管理に係る業務は、他の業務と区分して経理してください。

8 留意事項

(1) 指定期間について

指定期間が10年であることを踏まえた事業の展開や本公園への投資の考え方について明らかにするとともに新たな事業や施設のリニューアルの提案を求めます。

(2) 管理運営の基本方針について

指定管理者は、令和3年度から7年度までの5ヶ年度を対象とした新たな方向性と実施する施策を示す「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」（以下「新戦略」といいます。）を踏まえ、新戦略のアウトカム指標（入園者数の増、園内収入の増、SNS（インスタグラム）の投稿数増）等の実現を見据えながら、本公園の活性化に向けた事業展開を行ってください。

なお、新戦略に掲げる主な取組等は下記の通りです。

（詳しくは添付の新戦略を熟読ください：<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/14674.html>）

<新戦略に掲げる主な基本方針>

①岐阜のゲートウェイとしての機能強化

(ア) 周遊拠点としての機能強化

県内有数の観光資源としてのポテンシャルを活かした、西濃地域等への周遊の拠点機能の強化

(イ) 県産品を活用した「食」の充実

「楽市楽座・養老」の活用も含めた、県ブランド農畜水産物や地元特産品を活用した「食」の充実

(ウ) アウトドア活動の展開

広い園内を存分に活かしたアウトドア活動の機能強化やワーケーション等屋内活動の屋外化を促進する取組みの充実

②安全・安心な空間・サービスの提供

アフターコロナにおける新生活様式を前提に、安全で安心して過ごせる空間・サービスの提供。

③集客から園内消費拡大につながる好循環の形成

拠点機能強化等による園内収入増加を原資に維持管理水準の向上や既存施設のリノベーションなどを行い、さらなる公園の魅力向上や利用者増に繋げるという好循環を形成。

<新戦略に掲げる、養老公園での実施を目指す主要事業>

- ・養老天命反転地でのワーケーション環境整備
- ・眺望を活かしたテラス整備（楽市楽座・時計台の改修）
- ・イベントやSNSを活用した集客プロモーションの展開
- ・滝谷商店街・旅館の活性化に向けた総合プロデュース
- ・キャンプ場・パークゴルフ場のリノベーション
- ・乳児から高齢者まで全世代が楽しめる遊具等の整備
- ・滝谷景観の創出とアクセス向上
- ・県営都市公園開園100周年イベント（養老鉄道との連携）

(3) 公園の景観の維持について

植栽など自然景観が美しい本公園の良好な景観を最大限維持発展できるよう、植栽や建物等の維持管理については、現状以上の水準を維持できるような方針を提案してください。

(4) 養老天命反転地の管理運営について

「養老天命反転地」は、現代芸術家・故荒川修作氏、故マドリン・ギンズ氏の芸術作品であり、荒川修作氏、マドリン・ギンズ氏の著作者人格権を侵さないことなどに留意して管理運営を行ってください。

(5) 楽市楽座・養老の活用を含めた食の充実について

本公園の食の拠点機能の充実に向け、令和4年度より指定管理施設となる楽市楽座・養老での飲食物販機能の活用も含めて食の充実を図り、同エリアをはじめ公園全体の集客増加や園内消費の拡大につなげてください。

具体的には、県産農畜水産物を活用したオリジナルの飲食メニュー、スイーツ、土産物品の開発・販売やキッチンカー、臨時売店など季節やイベントに的確に対応した利用者がアクセスしやすい飲食の提供などを行い、食の充実を図ってください。

楽市楽座・養老の管理運営にあたっては、楽市楽座・養老の出店事業者で構成する「楽市楽座・養老運営委員会」に対し、本公園における食の充実に向けた施設の管理運営方針、委託料や共益費など経費負担方法等について丁寧な説明を行った上で、協調を図りながら事業を進めてください。

※なお、「眺望をいかしたテラス」の整備に併せ、楽市楽座・養老の一部又は全部の修繕・改修工事を行う場合（楽市楽座・養老を撤去するときは、当該飲食・物販機能をテラス内に取り込むこととなります）、最長で2年間程度、楽市・楽座での飲食・物販が不可能となる可能性があります。この間の営業補償金、賠償金、逸失利益補償など、飲食・物販が不可能となることに対する県費の支出は、仮設店舗設置を除き、一切、行わないこととしますので留意願います。

円滑に営業が停止・休止されるよう、楽市楽座・養老のテナントとの契約にあたっては、営業が停止・休止中での仮設店舗の運営方法を含む契約条項の精査に留意願います。

(6) 地元関係団体等との連携について

長い歴史のある本公園では、一部住宅併用を含む商店があるなど地元に根差した公園です。このため、事業展開にあたっては、地元との連携・協調が非常に重要であり、地元関係団体等との連携に十分配慮してください。

ア 養老町観光協会と特に春・秋の行楽シーズン前に行事の打合せ等の連携を図り、管理運営に努めるとともに、養老町、養老町観光協会等が公園内で行うイベントには、積極的に協力、協調し本公園の活性化に努めてください。

イ 各種ボランティア団体等の関係団体と協調を図り管理運営を行ってください。

ウ こどもの国は、児童の健全な遊びをとおして、健康を増進し創造性と豊かな情操を養うところであり、この趣旨に沿って、養老町、養老町教育委員会と協調を図り管理運営に努めてください。

エ 滝谷エリアの活性化に向けては、地元商店街等との十分な連携をはかってください。

(7) 県営都市公園開園100周年イベントの実施について

本公園は、令和5年度に県営都市公園として開園してから、100年を迎えます。

そのため、令和5年度に、県、養老町、養老町観光協会及び養老鉄道株式会社等と連携して実施する開園100周年関連イベントに関する、指定管理者としての企画を提案してください。

(8) 実施を求める自主事業について

ア こどもの家及びレストハウスの活用について

こどもの家の旧厨房スペース、多目的ホール及びこどもホール（以下「こどもホール等」といいます。）並びにレストハウス（ログハウス）の活用について、本公園の魅力向上に資する積極的な提案を求めます。

なお、当該提案を行うに当たっては、次の点に注意してください。

(ア) 当該施設の活用に当たり、内装程度の変更は認めますが、建物の取り壊しや構造変更を伴う改築は認めません。

(イ) 当該施設の活用に伴う費用及びその後の維持管理は、5（1）に示す指定管理業務に係るリスク分担にかかわらず、すべて申請団体の負担となります。

(ウ) 用途の変更を施した場合は、指定期間満了後、当該変更後の原状において、県に無償で引き渡していただきます。

(エ) 現在、こどもホール等は、本公園利用者の休憩場所、地域団体の発表会やイベント等の会場として利用されています。提案は、このホール機能を残すものとし、現在の利用方法としても使えるものとしてください。

(オ) 当該施設の管理については、都市公園法第5条の管理許可が必要です。ただし、収益事業を行わない場合は、許可を不要とします。

イ 滝谷の活性化について

滝谷（養老の滝から松風橋までの付近一帯）の活性化（公園施設の設置、イベント等の実施、商店との連携等）に資する積極的な提案を求めます。

ウ キャンプ場及びパークゴルフ場のリノベーションについて

屋外活動の拠点機能の充実に向け、現在のキャンプ場（養老キャンプセンター）及びパークゴルフ場のエリアについて、より有効な活用が図られる事業提案（既存のキャンプ場施設の利用方法を含む）を求めます。

なお、当該提案を行うに当たっては、当該事業を次期指定管理者の自主事業として行うこととして、次の点に注意してください。

(ア) リノベーション後の活用方法については、現在の利用方法にとらわれず、都市公園にふさわしく、より有効な活用が図られる内容を提案してください。

(イ) 当該リノベーションに係る費用や、その後の維持管理費用は、5（1）に示す指定管理業務に係るリスク分担にかかわらず、すべて申請団体の負担となります。

なお、既存のキャンプ場施設の活用を希望する場合は、現設置者等との間で協議が必要となることをご承知ください。

(ウ) 当該リノベーションにあたり、一部を県が負担するという提案も妨げませんが、提案内容を全て採用するとは限りません。よって、提案通りに県が対応を行わない場合でも対応可能な運営計画を検討してください。

(エ) 指定管理者の負担において公園施設を設置する場合（他者が設置した公園施設を継承する場合も含む）は、都市公園法第5条に基づく県の設置許可及び公園条例第10条に基づく使用料の納入が必要です。

(オ) 指定管理者の負担で設置もしくはリノベーションした公園施設は都市公園法第10条に基づき、指定期間満了後、原則として、原状に回復して県に引き渡していただきます。

ただし、本公園の機能向上または公共性の観点から必要な施設であると認められる場合等には、県との協議により原状に回復することなく、県に引き渡していただくことがあります。

エ その他の自主事業について

申請者において、本公園の活性化に向けた自主事業を積極的に提案してください。

(9) 再生可能エネルギー電力の調達について

「2050年脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、大規模な排出事業者である県が率先して自らの事務及び事業から排出される温室効果ガスの削減を図る観点から、施設での使用電力については、令和7年度までに30%を、令和12年度までに100%を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えてください。

(10) 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底について

指定管理業務の実施に当たっては、県が作成する「コロナ社会を生き抜く行動指針」に基づき、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底に努めてください。

(11) ホームページ更新等の準備について

令和4年4月1日の指定管理業務開始までに、本公園のホームページ及びリーフレットの更新を行い、円滑な業務開始に努めてください。

なお、情報発信機能の整備にあたっては、SNSなど多様な媒体の積極的な活用にも努めてください。

第3 募集から決定までのスケジュール

指定管理者の募集から決定までのスケジュールは、次のとおりです。なお、詳細については、第4から第7までを参照してください。

募集要項の配布	令和3年6月28日（月）から令和3年8月10日（火）まで
質問の受付	令和3年6月28日（月）から令和3年7月16日（金）まで
現地説明会の受付	令和3年7月6日（火）まで
現地説明会の実施	令和3年7月12日（月）
申請書類の受付	令和3年8月3日（火）から令和3年8月10日（火）まで
事前審査	申請書類の受付後、令和3年9月中旬まで（予定）
制度等運用委員会による審査	令和3年9月中旬（予定）
優先交渉権者等の決定	令和3年9月中旬（予定）
細目協議	令和3年9月中旬から令和3年11月上旬まで（予定）
指定管理者候補者の決定	令和3年11月上旬（予定）
県議会の指定議決	令和3年12月下旬（予定）
指定管理者の指定	令和3年12月下旬（予定）

第4 申請に係る事項

1 申請資格

申請団体は、次に掲げるすべての要件を満たす法人その他の団体でなければなりません。共同体で申請する場合には、その構成員であるすべての団体が当該要件を満たしている必要があります。

- ア 県税（地方消費税を除きます。）について未納の徴収金（徴収猶予に係るものを除きます。）がないこと。
- イ 本県の区域内に事務所又は事業所を有する団体にあつては、消費税及び地方消費税について未納の税額（徴収猶予に係るものを除きます。）がないこと。
- ウ 地方自治法施行令第167条の4〔一般競争入札の参加者の資格〕の規定に該当し、又は本県において入札参加資格停止措置を受けている団体でないこと。
- エ 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続（同法附則第2条の規定によりなお従前の例によることとされる更生事件に係るものを含みます。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続が行われていないこと。
- オ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団でないこと、又は当該暴力団若しくはその構成員（構成員でなくなった日から5年を経過しない者を含みます。）と関係を有しないこと。
- カ 前2年以内において、地方自治法第244条の2第11項の規定による指定管理者の指定の取消しを受けていないこと。
- キ 本県における指定管理者の指定に係る申請資格を喪失していないこと（第6参照）。
- ク 県職員（地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条に規定する特別職（知事、副知事、議会の議員、委員会の委員及び監査委員に限ります。）又は一般職にある本県の職員をいいます。）が無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者又は支配人の地位にある団体でないこと。
- ケ 本県の区域内に主たる事務所を置いていること（共同体で申請する場合にあつては、その構

成員の代表団体（当該共同体の構成員のうち、出資の割合又はその施設の管理の業務に係る責任の程度が最大であるものをいいます。）が本県の区域内に主たる事務所を置いていること。）。

これらの要件は、申請時点から指定管理者の指定があるまで、継続的に満たしている必要があります。

なお、一の募集につき、一の団体が複数の申請（他の団体と共同体を構成して申請する場合を含みます。）を行うことはできません。

2 申請手続

(1) 募集要項の配布

ア 配布期間

令和3年6月28日（月）から令和3年8月10日（火）までの毎日（日曜日、土曜日及び休日（以下「県の休日」といいます。）を除きます。）午前9時から午後5時まで

イ 配布場所

岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階
岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

ウ その他の入手方法

現地説明会の会場において配布するほか、岐阜県庁ホームページからダウンロードすることもできます。

<ダウンロードページ>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/157507.html>

(2) 質問の受付

ア 受付期間

6月28日（月）午前9時から令和3年7月16日（金）午後5時まで（県の休日を除きます。）

イ 受付場所

〒500-8570
岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階
岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

ウ 提出方法

別記第1号様式による養老公園の指定管理者募集に関する質問票に記入の上、電子メール(c11669@pref.gifu.lg.jp)、ファクシミリ（058-278-2776）、郵便若しくは信書便又は持参により提出してください。

エ 質問内容及び回答の公表

質問に対する回答は、競争上の地位、その他正当な利益を害する恐れのあるものを除

き、随時岐阜県庁ホームページで公表します。

<公表ページ><https://www.pref.gifu.lg.jp/page/157507.html>

(3) 現地説明会

ア 開催日時

令和3年7月12日(月) 午後1時30分から

イ 開催場所

養老公園 こどもの家 こどもホール
電話番号 0584-32-0501

ウ 申込先

〒500-8570
岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階
岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

エ 申込方法

別記第2号様式による養老公園の指定管理者募集に関する現地説明会参加申込書に記入の上、電子メール(c11669@pref.gifu.lg.jp)、ファクシミリ(058-278-2776)、郵便若しくは信書便又は持参により提出してください。

オ 申込期限

令和3年7月6日(火) 午後5時まで

(4) 申請書類の受付

ア 受付期間

令和3年8月3日(火)から令和3年8月10日(火)までの毎日(県の休日を除きます。) 午前9時から午後5時まで

イ 提出書類

次の書類((サ)の書類は、共同体で申請する場合に限りです。)を提出してください。

特に、(イ)の書類については、指定期間の初年度における指定管理料の上限額と整合を図るため、新型コロナウイルス感染症による収支への影響について考慮しないものを提出してください。

また、共同体で申請する場合にあっては、(ウ)から(コ)までの書類は、その構成員に係るものを提出してください。

(ア) 養老公園指定管理者指定申請書(別記第3号様式)

(イ) 養老公園指定管理者事業計画書(別記第4号様式)

(ウ) 申請団体概要書(別記第5号様式)

(エ) 定款、寄附行為その他これらに類するもの

(オ) 申請日前3か月以内に交付された法人の登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、代表者の住民票の写し若しくは住民票記載事項証明書)又はその写し

- (カ) 現事業年度の収支予算書、直近事業年度の事業報告書及び直近5事業年度分の貸借対照表、損益計算書その他の財務諸表（当該財務諸表がない事業年度分を除きます。）（グループ企業で連結決算を行っている場合には、加えて連結決算書）
- (キ) 県税事務所が交付する全税目の完納証明書
- (ク) 本県の区域内に事務所又は事業所を有する団体にあつては、税務署が交付する消費税及び地方消費税について未納の税額（徴収猶予に係るものを除きます。）がないことの納税証明書
- (ケ) 暴排措置対象法人等でないことの誓約書（別記第6号様式）
- (コ) 株主（出資者）調書（別記第7号様式）
- (サ) 共同体構成員届出書（別記第8号様式）及び養老公園管理運営業務に関する共同体協定書（別記第9号様式）
なお、当該共同体協定書においては、代表団体の出資の割合又は責任の程度が最大であることが明確となるように、関係条項を規定してください。
- (シ) 誓約書（別記第10号様式または別記第10号様式の2（共同体用））
- (ス) 委員との利害関係に関する申出書（別記第11号様式または別記第11号様式の2（共同体用））及びその添付書類
- (セ) 社会保険等（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類
（健康保険、厚生年金保険）
 - ・直近の保険料の納入に係る「領収証書」又は「納入証明書」の写し 等（雇用保険）
 - ・直近の「労働保険概算・確定保険料申告書」の控え及び保険料の納入に係る「領収済通知書」の写し 等※雇用する労働者等に係る社会保険等への加入を確実にを行うことについて、申請書類の受付後に行うヒアリング時において確認を行います。

ウ 提出先

岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階
岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

エ 提出方法

必ず持参により提出してください。

また、その提出の際には、第5・1(2)に定める制度等運用委員会の審査におけるプレゼンテーションの順序を定めるくじを引いていただきます。

オ 提出部数

正本1部、副本20部

カ その他留意事項

- (ア) 申請書類（官公署が交付する証明書を除きます。）の大きさは、日本工業規格A4判とし、ページ数を中央下部に表記してください。
- (イ) 申請書類の作成に当たっては、日本語、日本国の通貨単位及びメートル法を使用してください。
- (ウ) 申請に際して必要となる費用は、すべて申請団体の負担とします。
- (エ) 提出された申請書類は、返却しません。

- (オ) 提出された申請書類に不備がある場合、事業計画の内容に影響を及ぼさない範囲内の軽微なもの（添付すべき証明書類の添付漏れ、提出部数の不足等）にあつてはその補正を認めますが、事業計画書の記載事項の訂正又は全部若しくは一部の差し替えなど、当該範囲を超えるものにあつては、その補正を認めません。ただし、収支計画の支出に自主事業に係る費用が含まれているときは、当該金額を収支から除外するよう補正を求めることとし、当該補正に応じない申請団体は、選外とします。
- (カ) 提出された申請書類は、岐阜県情報公開条例の定めによる公文書公開請求の対象となり、個人に関する情報その他の同条例第6条に規定する非公開情報に該当する部分を除き、同条の規定により公開されます。
- (キ) 提出された申請書類の著作権は、その著作者に帰属するものですが、県が必要と認める場合には、その全部又は一部を無償で使用します。
- (ク) 申請内容に含まれる特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権その他日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利を侵害した結果生じる責任は、すべて申請団体が負うものとします。
- (ケ) 県が必要と認める場合には、申請書類の補正または追加資料の提出を求めることがあります。
- (コ) 現地説明会その他県の職員と接する選定手続の場に、県の職員であった者を参加させることはできません。
- (サ) 申請団体（共同体である場合には、その構成員である団体を含みます。）の名称は、審査手続が終了するまで公表しません。

3 申請の取下げ

申請書類の提出後に申請を取り下げる場合には、事前に電話連絡の上、養老公園指定管理者指定申請取下書（別記第12号様式）を郵便若しくは信書便又は持参により提出してください。

<連絡先・提出先>

〒500-8570

岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階

岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

電話番号 058-272-8667

なお、第5・1(2)に定める制度等運用委員会の審査後に申請を取り下げた申請団体（共同体である場合には、その構成員であるすべての団体を含みます。）は、その取下げの日から1年間、本県における指定管理者の指定に係る申請資格を喪失します。

第5 指定管理者候補者の選定手続

1 審査方法

(1) 事前審査

申請書類の受付後、県において次のとおり形式審査及び内容審査を行います。

ア 形式審査

申請団体がこの募集要項に定める申請資格要件を満たしているか、提出された申請書類に不足がないかなど、申請団体が申請に当たって満たすべき形式的要件の充足状況を確認

認するため、申請書類等に基づく審査を行います。

申請資格要件を満たしていないことが確認された申請団体は失格とし、その旨及び理由を通知します。

イ 内容審査

申請書類における事業計画がこの募集要項に定める業務水準等の条件を満たしているか、当該事業計画の内容に疑義を生ずる記載上の不備がないかなど、(2)に定める制度等運用委員会の適正な審査に影響を及ぼすおそれのある申請上の不備の有無やその内容を事前に把握するため、申請書類に基づく書面審査及びヒアリングを行います。当該ヒアリングの日時及び開催場所については、別途通知します。

この内容審査において採点は行いませんが、この募集要項に定める業務水準等の条件を満たしていないことが判明した申請団体は選外とし、その旨及び理由を通知します。

(2) 制度等運用委員会による審査

事前審査において失格又は選外となった場合を除き、制度等運用委員会（岐阜県附属機関設置条例（平成25年岐阜県条例第1号）に基づいて設置し、外部の有識者6名の委員で構成する岐阜県指定管理者制度等運用委員会をいいます。以下同じです。）において次のとおり審査を行います。当該委員の氏名、所属団体及び役職は、岐阜県庁ホームページにおいて公表しています。

<公表ページ>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/5.html>

なお、当該審査のための会議は、公開することに適さない個人に関する情報や申請団体の事業活動に関する情報などを扱い、また、公開することにより、指定管理者候補者の公正な選定に著しい支障を及ぼすおそれがあるため、非公開により行います。

ア 日時及び開催場所

事前審査において失格又は選外となった場合を除き、別途通知します。

イ 審査

制度等運用委員会の審査は、次の流れにより行います。なお、(エ)から(カ)までの審査手続は、申請団体ごとに一連の手続として行います。

(ア) 専門家等による評価結果等の報告

県は、現行の指定管理者による施設の管理運営に対する評価について、その施設を熟知した専門家等から聴取した事項があるときは、その概要及び県による最終評価の結果並びに当該結果を踏まえて次期指定管理者に求めるべき事項を整理し、制度等運用委員会に報告します。

(イ) 専門家等からの意見聴取

県は、委員の判断の参考にするため必要があると認めるときは、その施設に関連する専門家等に会議への出席を依頼し、県又は委員から当該専門家等に対して、それぞれの見地からの意見の陳述を求めます。

- (ウ) 県から制度等運用委員会に対する事前審査の結果報告
県から制度等運用委員会に対し、事前審査の結果（事前審査において失格又は選外となった申請団体については、その旨及び理由）を報告します。
- (エ) 申請団体によるプレゼンテーション
各申請団体が、制限時間15分の範囲内において、委員に対するプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションにおいて使用できる資料（その申請団体が手持ちとする資料を除きます。）は、その申請団体が提出した申請書類及び当該申請書類の一部を拡大した説明用パネルに限られ、他の資料の提出又は提示、プレゼンテーション機器の使用等については認めません。
なお、プレゼンテーションの順序は、申請団体が申請書類を提出した際に引いたくじの数字の小さい順とします。
- (オ) 県及び委員からの質疑並びに申請団体の応答
県及び委員から申請団体に対して質疑を行い、申請団体の説明を求めます。この質疑応答の時間は、1申請団体当たり20分を目途とします。
- (カ) 採点
申請団体が1団体である場合を除き、申請団体ごとに(エ)及び(オ)の審査手続を経た後、この募集要項に示す審査基準に従って、委員が当該申請団体についての採点を行います。
- (キ) 採点結果一覧表の作成
申請団体が1団体である場合を除き、すべての申請団体について(カ)までの審査手続を経た後、県は次の手順により採点結果一覧表を作成し、制度等運用委員会に提出します。
- i 委員から採点表を回収し、その採点結果を採点結果一覧表に集計する。
 - ii iの集計後、委員別に申請団体ごとの合計得点を比較し、第1位に3点、第2位に2点、第3位に1点の順位点（同順位の申請団体が複数あるときは、当該順位及びその下位に当たる空位の合計点数を当該同順位となった申請団体の数で除して得られる点数とします。）を、それぞれ付与する。
 - iii iiの順位点を採点結果一覧表に集計する。
 - iv iiiの集計後、申請団体ごとの順位点合計を比較し、それぞれの順位を採点結果一覧表に記入する。
- (ク) 審議
制度等運用委員会は、(キ)までの審査手続を踏まえ、申請団体が複数である場合にあっては優先交渉権者及び次点の者、1団体である場合にあっては優先交渉権者の選定に係る審議を行います。
なお、申請団体が複数ある場合にあっては、(キ)において県が制度等運用委員会に提出した採点結果一覧表を基礎として、順位点合計が第1位の申請団体を優先交渉権者、第2位の申請団体を次点の者としてそれぞれ選定することについての審議を行うものであり、当該順位点合計に同順位の団体が複数ある場合にあっては、制度等運用

委員会の合議によってその優劣を決定します。

(ケ) 優先交渉権者等の選定

制度等運用委員会は、(ク)の審議内容を踏まえ、優先交渉権者及び次点の者（これらに該当する申請団体がいない場合を除きます。）を選定します。

ウ 申請団体との間に利害関係が認められる委員の取扱い

制度等運用委員会の審査手続開始前に、委員及び申請団体を対象として次のとおり相互の利害関係の有無に関する確認調査を行い、申請団体との間に利害関係のあることが確認された委員については、当該審査手続への参加を認めません。

(ア) 利害関係の定義

次のいずれかに該当する場合には、委員と申請団体との間に利害関係があるものと判断します。

- i 委員本人又はその父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹（以下「委員等」といいます。）が、申請団体においてその名称のいかんを問わず支配力を有する地位にある場合
- ii 委員等又は委員等がその名称のいかんを問わず支配力を有する地位にある団体と申請団体との経済的関係につき、指定管理者の公正な選定を妨げる事情があると認められる場合

(イ) 利害関係の有無に関する確認手続

利害関係の有無に関する確認は、県が次のとおり行い、その結果を基に、各委員についての利害関係の有無を判断します。

i 委員に対する確認手続

- (i) 申請書類の受付期間終了後、県から申請団体の一覧を提供した上、委員と個別面談を行い、申請団体との利害関係の有無について記載した「利害関係の有無に関する調査票」の提出を受けます。
- (ii) 制度等運用委員会の審査当日までの間に、申請団体から委員への接触行為その他申請団体との利害関係に関する新たな事実が生じたときは、直ちに、委員からその内容について報告を受けます。
- (iii) 制度等運用委員会の審査当日、当該審査に先立ち、委員に対して、すべての申請団体と利害関係がないことを再度口頭により確認します。

ii 申請団体に対する確認手続

- (i) 第4・2(4)イに定めるところにより、申請書類の一つとして、申請団体から別記第11号様式による「委員との利害関係に関する申出書」（添付書類を含みます。）の提出を受けます。
- (ii) 制度等運用委員会の審査当日までの間に、(i)の申出内容に異動を生じた申請団体は、直ちに県へその内容を書面（任意様式）で申し出てください。
- (iii) 制度等運用委員会の審査を受ける申請団体は、プレゼンテーションに先立ち、(i)及び(ii)の申出内容に誤りがないことを宣誓してください。

(3) 留意事項

第4・2(4)カ(コ)と同様、ヒアリング、プレゼンテーションその他県の職員と接する選定手続の場に、県の職員であった者を参加させることはできません。

2 審査基準

申請内容については、次の基準により審査します。

審査項目	審査の観点	配点
施設管理の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を的確に理解した提案となっているか。 施設の管理運営方針に適合した提案となっているか。 	5
類似施設の管理実績	<ul style="list-style-type: none"> 類似施設を管理した実績がどの程度認められるか。 	10
利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者サービスの向上が図られているか。 利用者の平等な利用に配慮されているか。 利用者の意見の反映や苦情への対応は適切であるか。 開園日及び利用時間の設定は適切であるか。 新戦略のアウトカム指標（SNSへの投稿数等）の達成に資する効果的、かつ実現可能な広報が計画されているか。 新戦略を踏まえた本公園の活性化が計画されているか。 （岐阜のゲートウェイとして、「周遊拠点」、「食の充実」、「アウトドア活動の展開」という機能を強化し、新戦略のアウトカム指標達成に資する効果的、かつ実現可能な計画となっているか） 本公園の活性化に向けた自主事業（パークゴルフ場等のリノベーションを含む）が提案されているか。 ただし、事業計画は申請者自らの経費負担によるもののみ審査の対象とし、県の経費負担による整備等は審査対象としない。 活性化の取組による園内収入増加を原資に維持管理水準の向上や既存施設のリノベーションなどを行い、さらなる公園の魅力向上や利用者増に繋げるという好循環の形成が計画されているか。 	30
施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理水準は、県の求める業務水準をどの程度上回っているか。 効果的・効率的な施設管理の手法が提案されているか。 建物や植栽の維持管理が現在の水準を下回らないか。 環境の保全について適正に配慮されているか。 	5
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料の提案金額の多寡はどうか。 経費縮減のための取組は妥当であるか。 収入を増加させる取組は妥当であるか。 利用料金の設定は適切であるか。 収支計画は提案された事業計画と整合しているか。 収支計画の達成の可能性はどうか。 リノベーションをはじめ提案された自主事業については実現可能性のある収支計画となっているか。 	15
組織・体制	<ul style="list-style-type: none"> 管理に当たる組織や人人体制は妥当であるか。 従業員の資質（有資格者や経験者の配置状況など）はどうか。 役割分担と責任体制は明確になっているか。 労働法令遵守や雇用・労働条件への適切な配慮はされているか。 現在の施設管理団体の従業員の雇用についての考え方はどうか。 障がい者及び高齢者の積極的な雇用に努めているか。 	10

危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全確保対策は適切であるか。 ・ 事故・災害発生時の対応は適切であるか。 ・ 保険の加入計画は適切であるか。 ・ 個人情報保護や情報管理は適切であるか。 	10
経営基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請団体の財務状況はどうか。 ・ 申請団体に対する金融機関等の支援体制はどうか。 	5
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内からの雇用や県内企業の優先的な活用について配慮されているか。 ・ ボランティア団体との取り組みについて配慮されているか。 ・ 地元（町や町観光協会、各種地域団体等）との連携による取組は予定されているか。 ・ 地域連携にあたり独自の工夫がなされているか。 	10
合 計		100

3 優先交渉権者等の決定

1(2)における審査終了後、県は制度等運用委員会の委員長から審査結果の報告を受け、速やかに優先交渉権者及び次点の者（これらに該当する申請団体がない場合を除きます。）を決定し、すべての申請団体に対してそれぞれの審査結果を通知します。

なお、当該審査結果の通知と併せて、申請団体（共同体である場合には、その構成員である団体を含みます。）の名称、当該決定内容（主な選定理由を含みます。）及び採点結果一覧表（制度等運用委員会において採点が行われた場合に限ります。）を、審査の対象に係る指定期間が満了するまでの間、岐阜県庁ホームページにおいて公表します。

<公表ページ>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/141221.html>

4 指定管理者候補者の決定

3の決定後、県と優先交渉権者との間において、指定管理者候補者の選定に向けた細目協議を行います。

優先交渉権者との間における細目協議が調わないときは、協議を中止し、県は改めて次点の者との間において指定管理者候補者の選定に向けた細目協議を行いますが、その中止の判断は、優先交渉権者が失格となり、又は申請を取り下げたこと、優先交渉権者による管理の業務の履行が困難であり、又は当該優先交渉権者にこれを履行させることが著しく不相当であると判断される事実が判明したことなど、協議を継続し得ない客観的な事実の発生を基礎として行います。

なお、県が優先交渉権者との間における細目協議を中止するに当たっては、制度等運用委員会に対して、その判断の適否についての意見を求めます。

細目協議が調い次第、県は当該優先交渉権者又は次点の者を指定管理者候補者として選定することを決定し、その旨をこれらの者に通知した上、岐阜県庁ホームページにおいて公表します。

<公表ページ>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/141221.html>

第6 申請資格の喪失

指定管理者の指定前において、申請団体（共同体である場合には、その構成員であるすべての団体を含みます。）に次のいずれかの事実が認められた場合、当該申請団体（共同体である場合には、その構成員であるすべての団体を含みます。）は、その事実が判明した日から1年間、本県に

おける指定管理者の指定に係る申請資格を喪失します。したがって、(1)から(7)までのいずれかに該当する申請団体は、失格となります。

- (1) 第5・1(2)ウ(イ)における利害関係の有無に関する確認手続において、その申出内容に誤りがあったこと。
- (2) 委員と不正に接触したこと。
- (3) 県に対して、指定管理者候補者の選定に関する不当な働きかけを行ったこと。
- (4) 指定管理者候補者の選定手続が終了するまでの間に、他の申請団体と申請の内容又はその意思について相談を行ったこと。
- (5) 指定管理者候補者の選定手続が終了するまでの間に、他の申請団体に対して申請の内容を意図的に開示したこと。
- (6) 申請書類の虚偽記載その他選定結果に影響を及ぼす不正行為を行ったこと。
- (7) 県と優先交渉権者又は次点の者との間において指定管理者候補者の選定に向けて行った細目協議が、当該優先交渉権者又は次点の者の責めに帰すべき事由により調わなかったこと。
- (8) 制度等運用委員会の審査後において、申請を取り下げたこと。

なお、県は、制度等運用委員会の意見を踏まえて、これらの事実の認定を行います。

申請資格を喪失した申請団体（共同体である場合には、その構成員であるすべての団体を含みます。）に対しては、申請資格を喪失した旨及びその理由、(1)から(8)までのいずれかに該当する事実が判明した日並びに申請資格の喪失期間（(1)から(7)までのいずれかに該当する申請団体にあっては、併せて、失格となった旨）を通知します。

第7 指定管理者の指定及び協定締結に係る事項

1 指定管理者の指定

(1) 指定管理者の指定の議決

県は、指定管理者候補者を指定管理者として指定するため、その指定に係る議案を県議会へ提出し、指定管理者に管理を行わせようとする公の施設の名称、指定管理者となる団体の名称、指定の期間等について地方自治法第244条の2第6項の議決を受けます。

(2) 指定管理者の指定

(1)の議決を受けた後、県は、速やかに指定管理者候補者に対して指定に係る通知を行い、併せて、公園条例第9条の8第1号の規定に基づき、その指定をした旨を公示します。

2 協定の締結

指定管理者の指定後速やかに、県と指定管理者は、指定期間を通じた包括的事項に係る基本協定を締結するものとします。

また、年度ごとの指定管理料の額、事業計画等について、指定期間中の各年度、当該基本協定とは別に年度協定を締結するものとします。

第8 指定管理者による管理の開始

指定管理者は、岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン第7・1に定めるところにより、適正な管理運営を行なわなければなりません。

また、指定管理者に対する監督・評価及び監査についても、同2及び3に定めるとおりです。

第9 公租公課の取扱い

指定管理者は、法令の定めるところにより、所要の公租公課を負担しなければなりません。

このうち国税及び地方税については、法人税、法人住民税及び法人事業税のほか、指定管理料に係る消費税及び地方消費税、事業所税などを負担しなければならないことがあります。

具体的な取扱いについては、それぞれの業務を所管する官公署に確認してください。

第10 その他留意事項

1 指定管理者の指定の取消し等

指定管理者が県の指示に従わないときその他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、地方自治法第244条の2第11項の規定により、県は指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部又は一部の停止を命ずることがあります。

2 協定書に定めのない事項等の取扱い

第7・2において締結した協定書に定めのない事項その他疑義の生じた事項については、県及び指定管理者の双方が誠意を持って協議するものとします。

3 業務の引継ぎ

指定期間の終了又は指定管理者の指定の取消しにより、県又は次期指定管理者に管理の業務を引き継ぐ必要が生じたときは、その円滑な引継ぎに協力してください。

第11 様式・添付資料

1 様式

別記のとおり

2 添付資料

- (1) 養老公園管理運営業務仕様書
- (2) 養老公園リーフレット
- (3) 岐阜県都市公園条例
- (4) 岐阜県都市公園条例施行規則
- (5) 県営公園管理マニュアル
- (6) 岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン
- (7) 岐阜県指定管理者制度等運用委員会委員名簿
- (8) 養老公園管理施設（各施設位置図）
- (9) 備品一覧表
- (10) 現在の利用料金表
- (11) 過去5年度の収支状況
- (12) 過去5年度の利用者数の推移
- (13) 施設及び設備の主な改修・修繕経緯及び今後の改修・修繕計画
- (14) 岐阜県個人情報保護条例
- (15) 岐阜県情報公開条例
- (16) 養老公園の情報公開に関する規程（案）
- (17) 岐阜県公文書規程
- (18) RE100 TECHNICAL CRITERIA について

- (19) 県有施設における病虫害等防除に関する基本方針について
- (20) 岐阜県情報セキュリティ事故対応マニュアル
- (21) 岐阜県公契約条例（リーフレット）
- (22) 養老公園の管理に関する基本協定書（案）
- (23) 令和4年度養老公園の管理に関する年度協定書（案）
- (24) 非常災害時における養老公園こどもの家の開放に関する覚書
- (25) 許可施設一覧
- (26) 新・岐阜県都市公園活性化基本戦略（令和3年3月）

第12 問い合わせ先

〒500-8570

岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁舎8階

岐阜県都市建築部都市公園整備局都市公園課活用推進係

電話番号 058-272-8667

ファクシミリ番号 058-278-2776

電子メールアドレス c11669@pref.gifu.lg.jp